



Heritage to the future

2026年3月期第1四半期 決算補足説明資料

Supplementary Materials for Financial Results

株式会社ヤギ | 東証スタンダード市場：7460

2025.8.4

つなぐのは世界、
広げるのは希望。

Since 1893、素材にこだわる繊維商社

2026年3月期経営目標

中期経営計画の最終年度として、次なる飛躍に向けた戦略的投資を推進する一方で、売上高の着実な成長とともに、2期連続での過去最高益の更新を目指します。

また、株主の皆様への利益還元の機会をさらに充実させ、株式を継続して保有していただくことを目的として、中間配当の実施を決議しました。

定量目標

売上高

900億円

経常利益

38億円

経営指標

ROE

6.0%以上

株主還元

配当性向

35%以上

1株当たり111円を予定
(+21円)

中間配当の実施を決議

1株当たり50円を予定

決算業績サマリー

定量実績

売上高

前年同期
199.4億円
↓
197.1億円
(▲1.1%)

営業利益

前年同期
6.7億円
↓
7.6億円
(+13.6%)

経常利益

前年同期
7.7億円
↓
10.0億円
(+30.0%)

四半期純利益

前年同期
4.8億円
↓
6.3億円
(+32.5%)

ポイント

- 米国の通商政策による影響や原材料価格やエネルギー価格の高騰など先行き不透明な状態が継続。
- 売上高は、マテリアル事業の減収が大きく、全体として微減収であったものの、利益は、粗利率の改善などにより大幅に上昇。
- YAGIグループ総合展2025を開催。

目次

01 連結業績

P5-10

02 セグメント別業績

P11-16

03 連結業績予想

P17-20

04 中期経営計画の取り組み

P21-26

05 参考資料

P27-29

目次

01 連結業績

P5-10

02 セグメント別業績

P11-16

03 連結業績予想

P17-20

04 中期経営計画の取り組み

P21-26

05 参考資料

P27-29

決算業績

売上高は前年同期とほぼ同水準だが、
営業利益以下は大幅な増益で好調なスタート。

(億円)	2025/1Q	2026/1Q		
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	199.4	197.1	▲2.2	▲1.1%
営業利益	6.7	7.6	+0.9	+13.6%
経常利益	7.7	10.0	+2.3	+30.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.8	6.3	+1.5	+32.5%
1株当たり 四半期純利益(円)	57.89	76.26	+18.37	+31.7%

売上高の推移

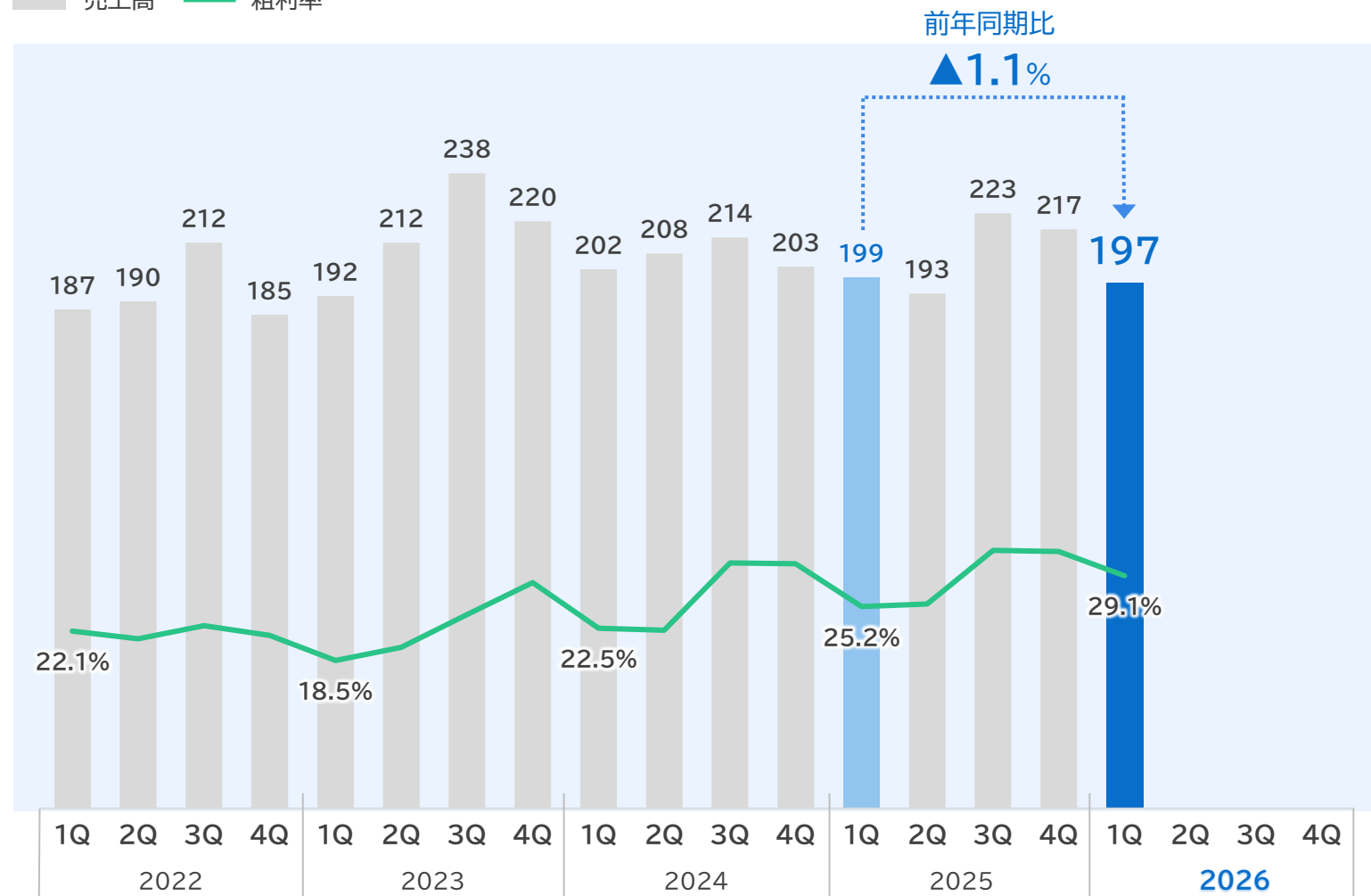
売上高は、安定的に推移。

(前年同期比▲1.1%)

売上総利益率は、毎四半期継続して上昇中です。

売上高 (億円)

■ 売上高 — 粗利率



経常利益の推移

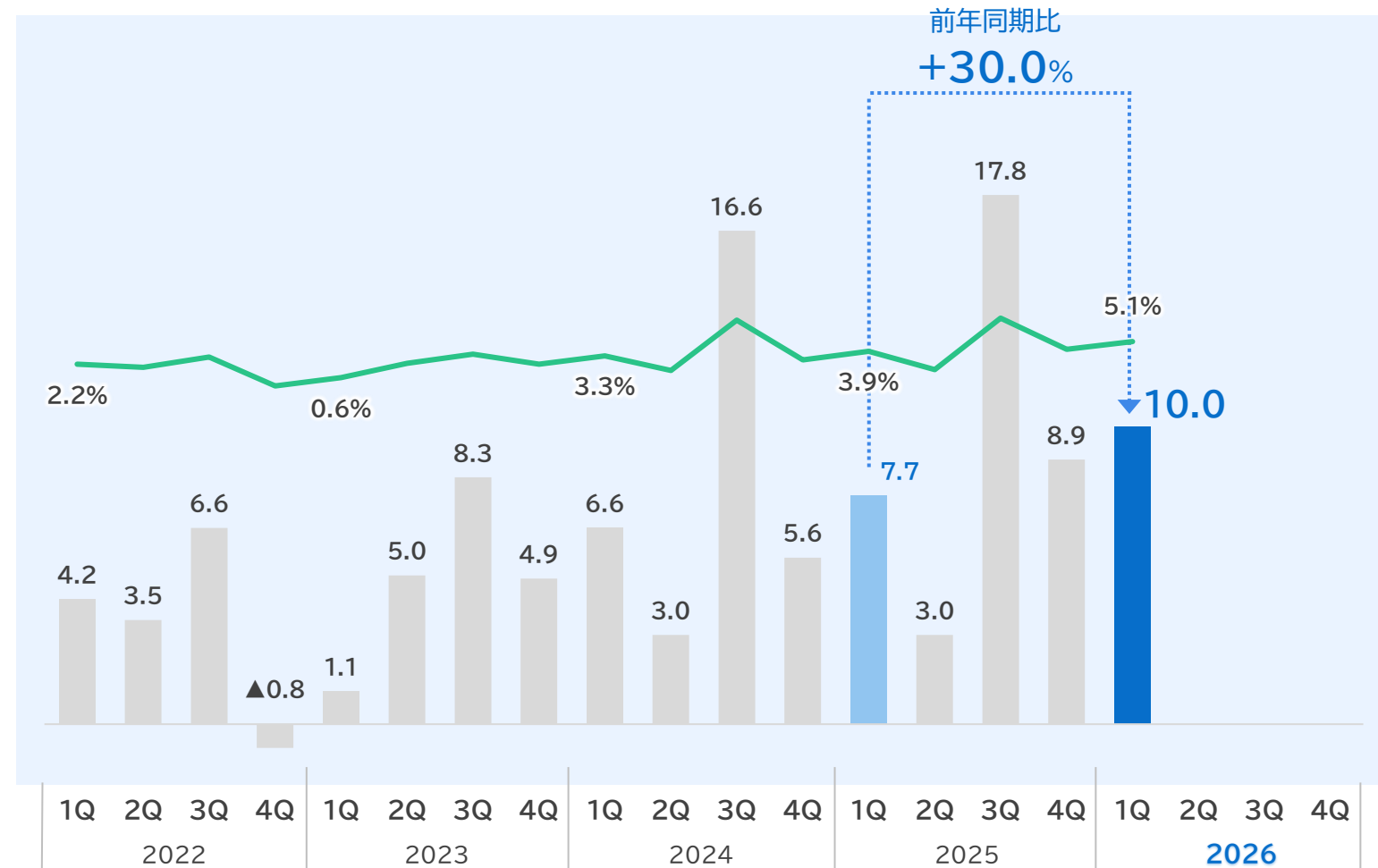
経常利益は、10億円超えでのスタート。

（前年同期比+30.0%）

経常利益率は、毎四半期継続して上昇中です。

経常利益（億円）

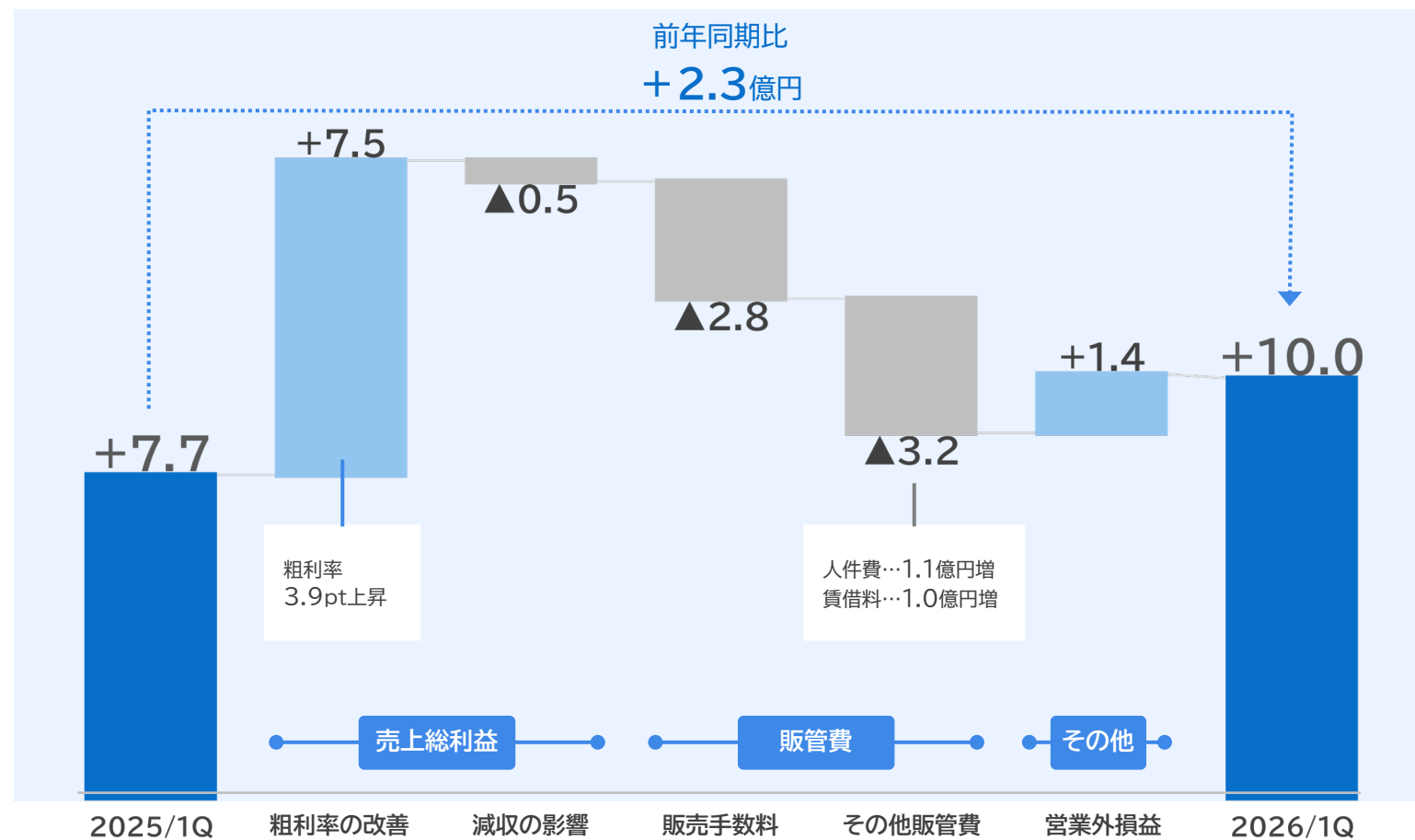
■ 経常利益 — 経常利益率



経常利益の増減要因

販管費は増加したものの、売上総利益率の改善など収益性の向上により、経常利益は増加しました。

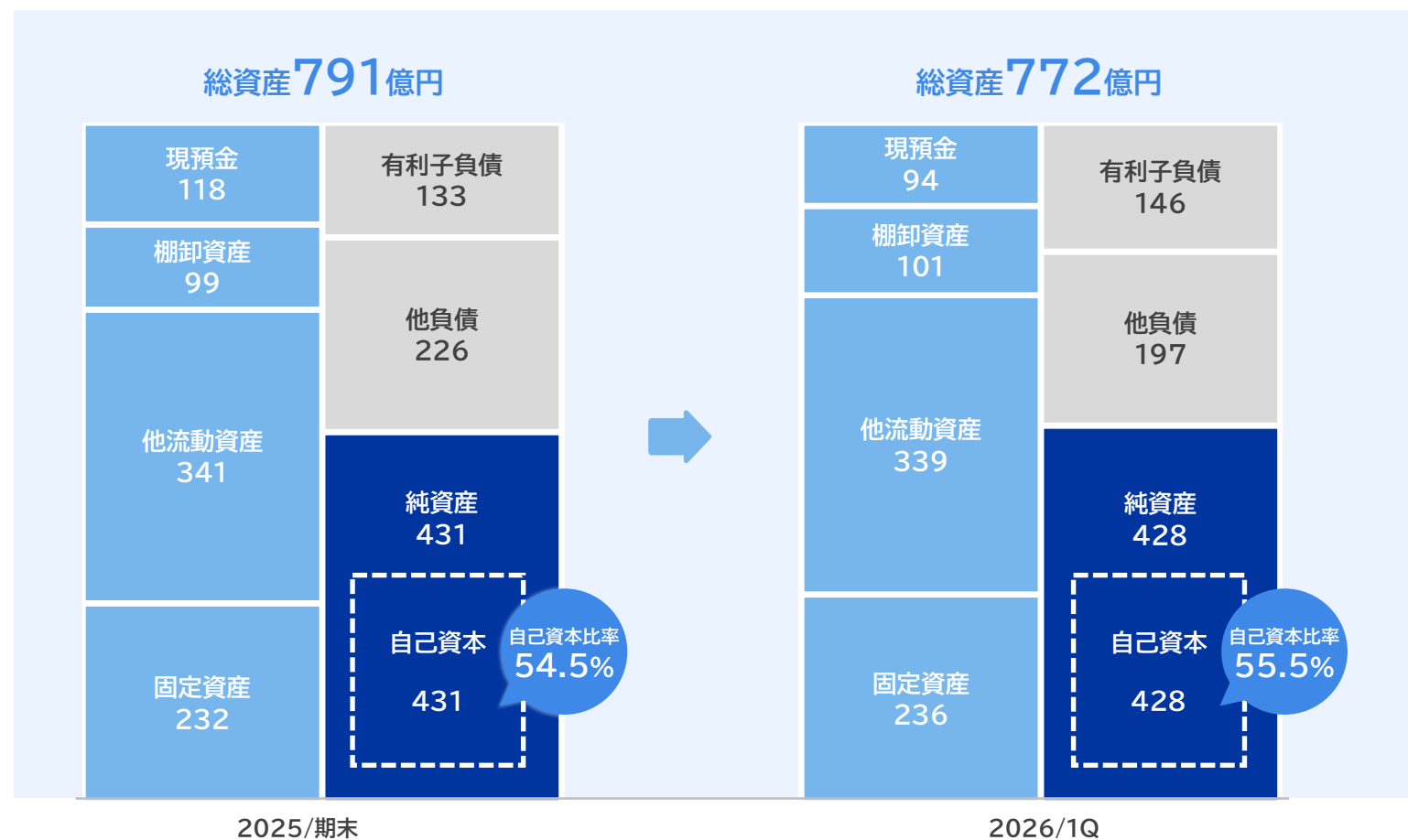
経常利益（億円）



B/Sの増減

現預金の圧縮などにより、総資産は19億円減少したが、自己資本比率は1.0pt改善し、財務健全性が向上しました。

バランスシート（億円）



目次

01 連結業績

P5-10

02 セグメント別業績

P11-16

03 連結業績予想

P17-20

04 中期経営計画の取り組み

P21-26

05 参考資料

P27-29

セグメント別サマリー

※セグメント利益は、各セグメントに直接関連する収益及び費用を計上しており、全社共通費（本社費用など）やセグメント間取引の消去などの調整額は、セグメント利益には含まれておりません。

※組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より「ライフスタイル事業」に含めていた一部の事業組織を「マテリアル事業」に、「マテリアル事業」に含めていた一部の事業組織を「アパレル事業」にそれぞれ変更しております。

このため、前第1四半期連結累計期間との比較については、変更後の区分方法に組み替えて比較を行っております。

詳細は、本日公表の「2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

マテリアル

売上高	53.8億円	(▲8.8億円)
-----	--------	----------

利益	2.0億円	(▲0.8億円)
----	-------	----------

減収減益	✓ 米国の通商政策の影響や取引先の生産・在庫調整などにより売上が減少
	✓ サステナブル原料は好調

ライフスタイル

売上高	11.9億円	(▲0.5億円)
-----	--------	----------

利益	1.6億円	(▲0.2億円)
----	-------	----------

減収減益	✓ 化粧雑貨は、中国市場、インバウンド需要の減退
	✓ タオルは、売り上げは堅調だが、製造コストは上昇

アパレル

売上高	120.7億円	(+4.0億円)
-----	---------	----------

利益	11.3億円	(+3.0億円)
----	--------	----------

増収増益	✓ 展示会の出展など取引先への営業強化
	✓ アウトドアスポーツブランド向けの販売が好調
	✓ ユニフォーム事業の新規取り組みが増加

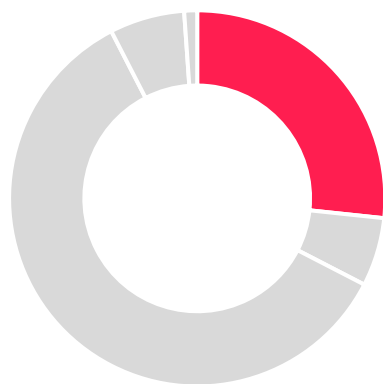
ブランドリテール

売上高	12.9億円	(+2.9億円)
-----	--------	----------

利益	▲2.8億円	(+0.9億円)
----	--------	----------

増収増益	✓ 新規店舗が売り上げに貢献
	✓ 春物商材におけるMD（マーチャндаイジング）が奏功
	✓ インバウンド向けが好調

マテリアル



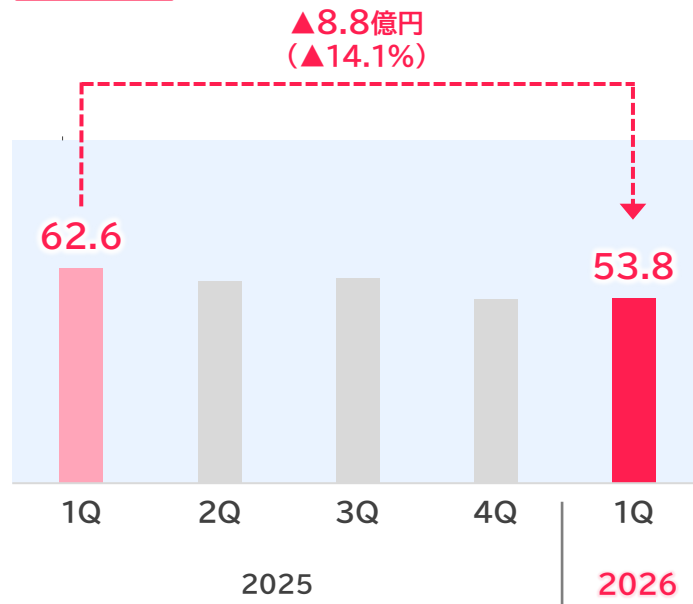
売上高構成比
26.7%

方針

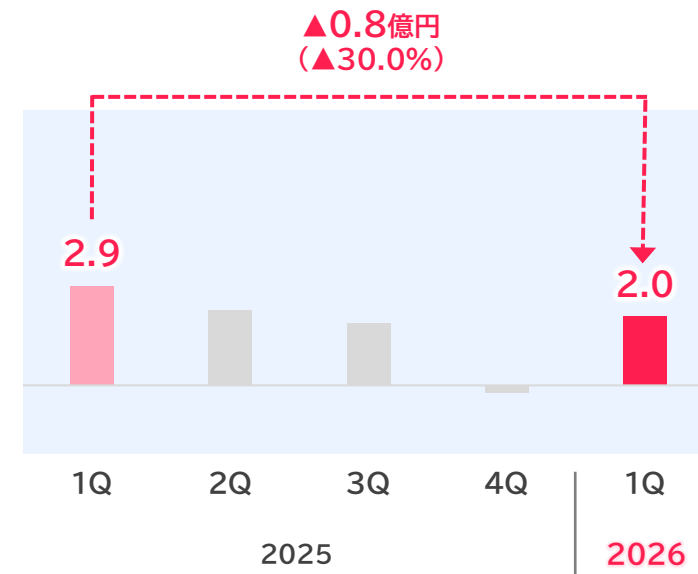
エンドユーザーを意識した原料・生地の開発と販売をグローバルに展開する

- 「UNITO project」の推進による原料を軸としたテキスタイルの開発と販売
- 差別化原料を武器とした新規商品開発と拡販
- 産地ビジネスの改革
- 海外市場の開拓と拡大

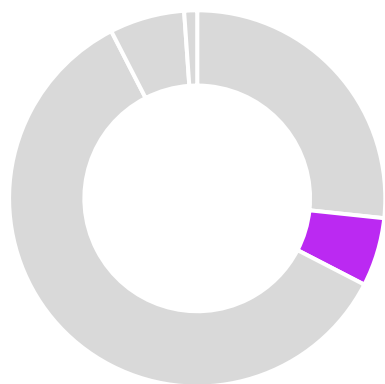
売上高



利益



ライフスタイル

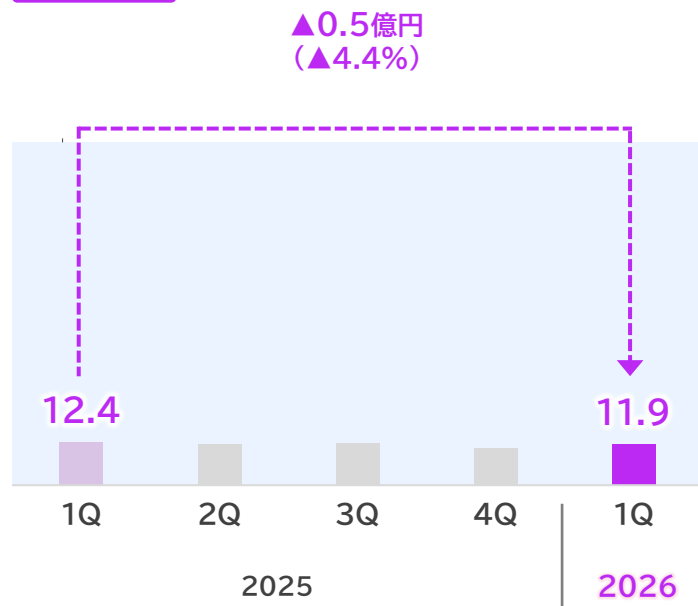


方針

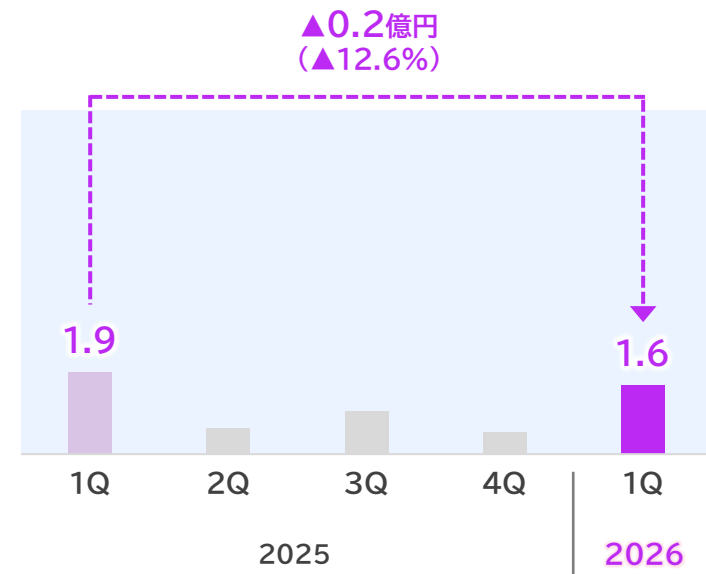
生産基盤の拡充と事業領域の拡大

- 国内外の生産基盤の拡充と生産効率の向上によるコスト低減
- 事業領域拡大のための企画力強化

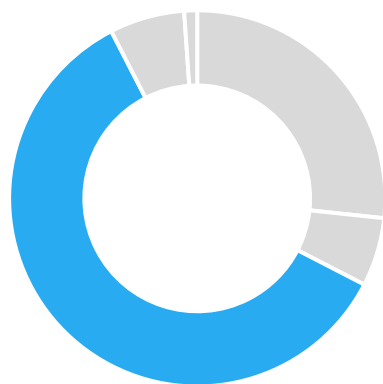
売上高



利益



アパレル



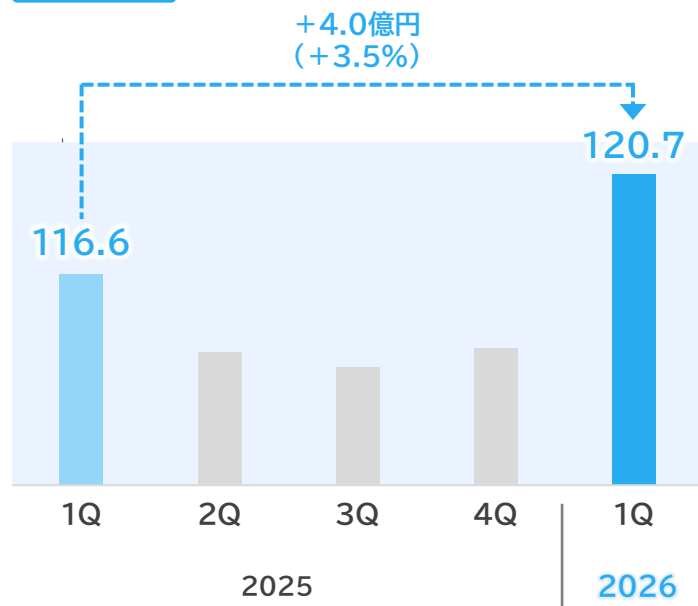
売上高構成比
59.9%

方針

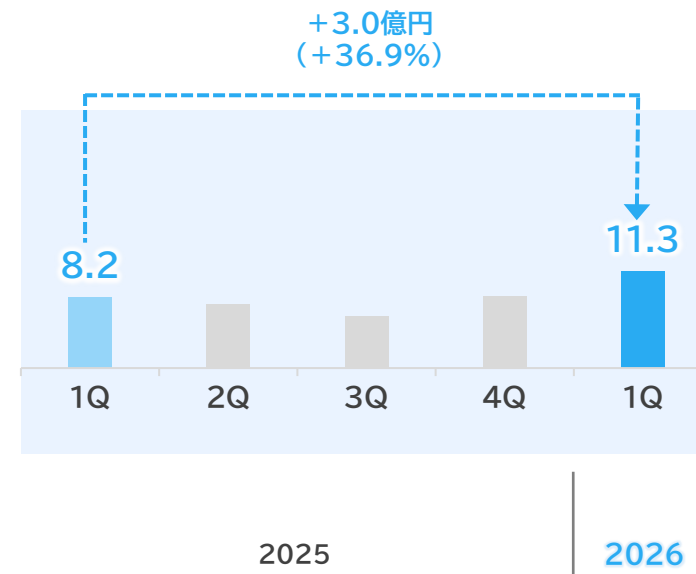
攻めの事業戦略で売上を拡大

- 販売チャネル別の成長施策による売上拡大
- 新規領域への挑戦と体制強化による中長期的成長の実現
- 重点領域への選択と集中及び販売体制の強化
- 海外販売の拡大とパートナーシップ強化

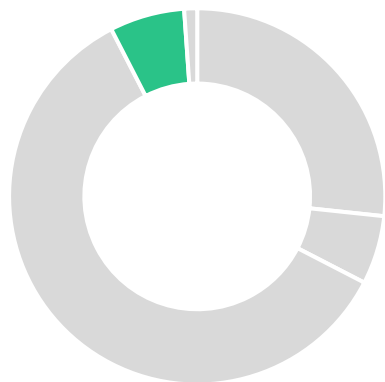
売上高



利益



ブランド・リテール



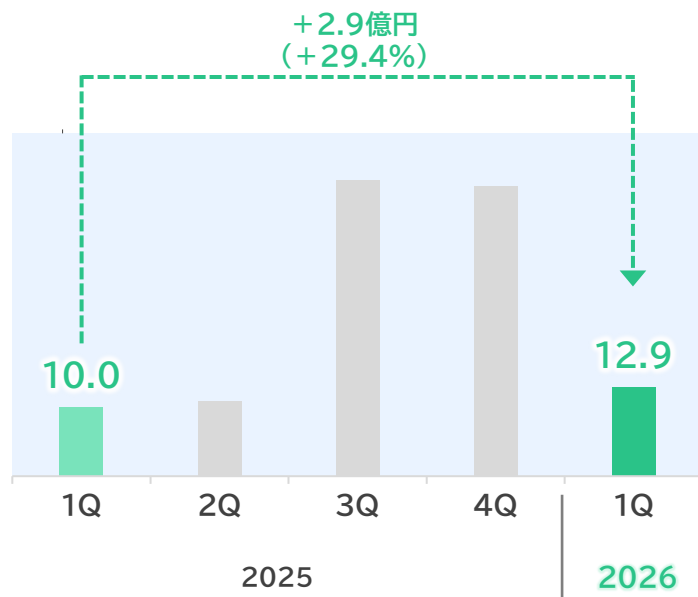
売上高構成比
6.4%

方針

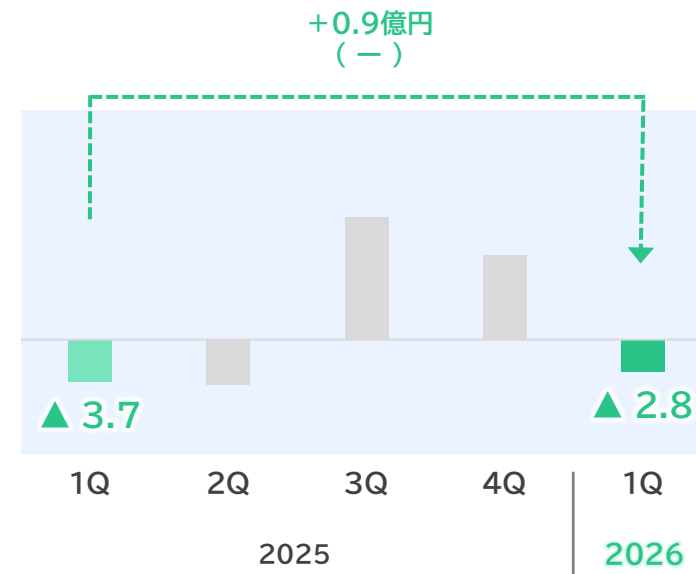
ヤギグループの次代を担う中核事業へ

- グローバル展開とブランド拡大の推進
- 国内店舗戦略の強化と効率化
- 組織体制と運営基盤の強化

売上高



利益



目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-20

04 中期経営計画の取り組み P21-26

05 参考資料 P27-29

進捗

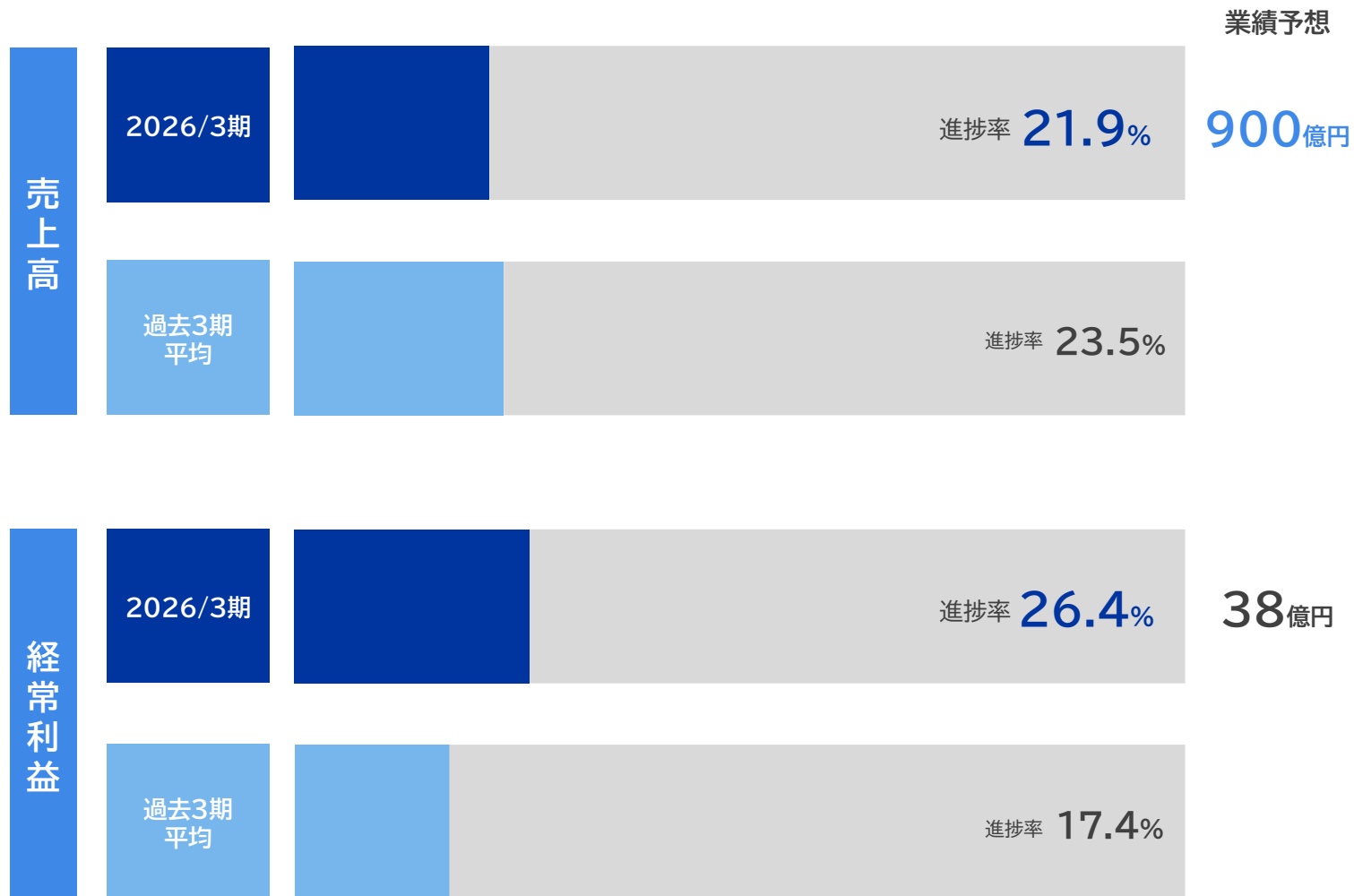
中計最終年度として、持続的な成長に向けた戦略的な投資を進めながらのスタート。

大きな遅れはなく、予定通りの進捗。

(億円)	2026/1Q	2026/通期	
	実績	実績	進捗率
売上高	197.1	900.0	21.9%
営業利益	7.6	36.0	21.2%
経常利益	10.0	38.0	26.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.3	26.5	24.1%
ROE	—	6.0%以上	—

進捗

売上高は、過去3期平均を下回る進捗だが、経常利益は過去3期平均を大きく上回る順調なスタート。



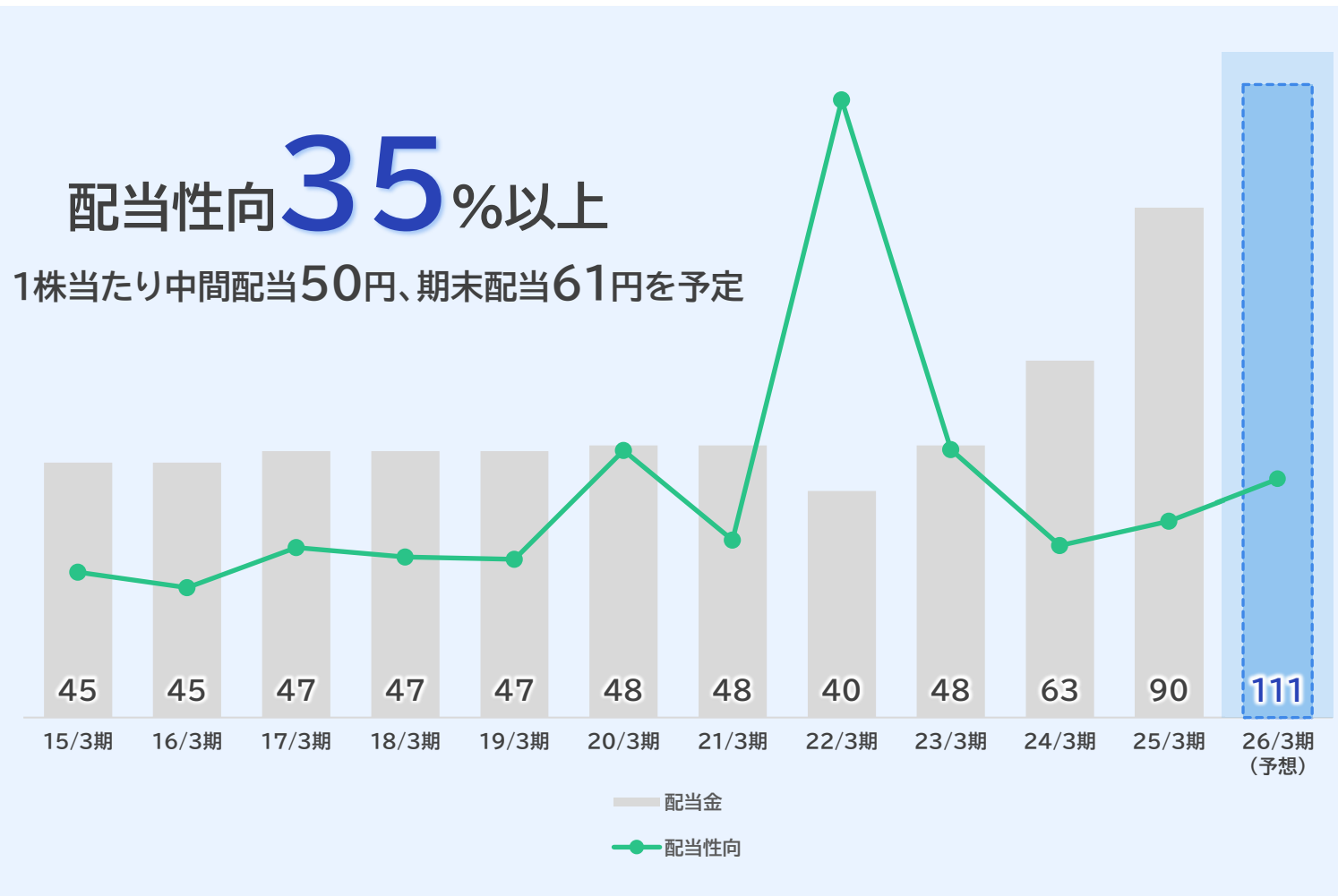
株主還元

株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していきます。

この方針を維持しつつ、更なる資本効率の向上と最適な資本配分の実施を進めることで配当性向35%以上の配当を基本方針とします。

1株当たり配当金

配当性向 **35%** 以上
1株当たり中間配当50円、期末配当61円を予定



目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-20

04 中期経営計画の取り組み P21-26

05 参考資料 P27-29

中期経営計画の取り組み

基本方針



社 是

終始一誠意

新しい価値の創造とグローバルな挑戦を行い、
人々の生活によりこびを与え豊かな社会に貢献していく

- 人・地域・国を結び、繊維の可能性を引き出していく
 - お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値によって社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく
 - 仲間同士がたたえ合い、健康でイキイキと働く環境を構築していく
-
- ヤギグループの持続的成長の基盤作り
 - 基本方針を実現するための経営基盤の強化策

基本戦略

事業戦略

- セグメントグループでの収益力強化
- ポートフォリオでの選択と集中

グローバル戦略

- サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開

グループ経営戦略

- グループマネジメントの進化
- グループ内のDX基盤の構築

人材戦略

- グループ人材や組織制度の連携強化
- 人材活性化環境の整備

ESG戦略

- CSV経営の実践
- コーポレートガバナンスの強化

中期経営計画の取り組み

基本戦略		取り組み	
事業戦略	<ul style="list-style-type: none">セグメントグループでの収益力強化ポートフォリオでの選択と集中	成果	<ul style="list-style-type: none">セグメント体制が確立したことで、各セグメントの収益力が強化 <div>取組中</div>
グローバル戦略	<ul style="list-style-type: none">サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開	成果	<ul style="list-style-type: none">環境配慮型素材ブランドをリブランドした「UNITO project(ユナ・イト プロジェクト)」がスタート海外拠点を開設 <div>取組中</div>
グループ経営戦略	<ul style="list-style-type: none">グループマネジメントの進化グループ内のDX基盤の構築	成果	<ul style="list-style-type: none">ネットワーク、インフラへの投資により、業務効率アップ <div>取組中</div>
人材戦略	<ul style="list-style-type: none">グループ人材や組織制度の連携強化人材活性化環境の整備	成果	<ul style="list-style-type: none">人事評価制度の刷新研修制度の見直しを実行表彰制度を新設定 <div>達成</div>
ESG戦略	<ul style="list-style-type: none">CSV経営の実践コーポレートガバナンスの強化	成果	<ul style="list-style-type: none">リスク管理委員会とサステナビリティ委員会の設置 <div>取組中</div>

トピックス | 01

マテリアル

ライフスタイル

アパレル

ブランド・リテール

事業戦略

グローバル戦略

グループ経営戦略

ESG戦略



「つなぐ」「ひろげる」
YAGIの「イマ」がわかる
詳細はこちら



2回目となるヤギグループの総合展示会を開催 -「企業と企業」「人と人」「繊維と世界」をつなぐ「HUB」をめざして-

本年4月、東京・ウィズホール原宿にて、当社の各部門やグループ会社をはじめ、海外拠点も参加してヤギグループ合同で行う2度目の総合展示会が開催されました。

2回目の総合展のテーマは、「Be The HUB」。「HUB」(ハブ)は物ごとの「中心」や「中核」「集約点」という意味です。ヤギグループは「企業と企業」「人と人」「繊維と世界」をつなぐ「HUB」でありたい、そして繊維業界の明日を創造することで、「いま」と「未来」をつなぐ「HUB」でありたい、という想いが込められています。

中期経営計画でも掲げている「Heritage to the future」のスローガンのもと、「Be The HUB」をテーマに、グループ企業を横断した『総合力』と、『ヤギがハブとなるファッションの未来』を表現し、2日間に渡って大変多くの方々にご来場をいただき、盛況な展示会となりました。



トピックス | 02

マテリアル

事業戦略

Fably

テキスタイル
EC プラットフォーム



YAGI
CREATIVE
HUB

「つなぐ」「ひろげる」
YAGIの「イマ」がわかる

詳細はこちら



千駄ヶ谷オフィスとショールームが移転オープン

当社の拠点の一つ、千駄ヶ谷ベースは本年4月に移転して「千駄ヶ谷オフィス」として稼働していましたが、5月には千駄ヶ谷オフィスにショールームスペースもオープンしました。当社はこれまでも、アパレルや繊維関係の企業が多く集まる東京の渋谷区千駄ヶ谷に繊維業界の人々が集う場所を作りたい、という考えから「千駄ヶ谷ベース」と称してショールームを設けていましたが、本年4月に移転し、当社グローバルマテリアル部門の新たな拠点として「千駄ヶ谷オフィス」と名称も変更しました。

ショールームでは、様々な生地サンプルを確認することができ、当社が運営するテキスタイルECプラットフォーム「Fably」に参加しているサプライヤー各社の生地サンプルも一緒に見ることができます。



トピックス | 03

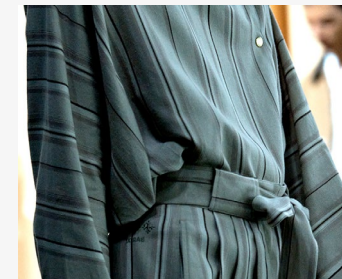
ブランド・リテール

グループ経営戦略

グローバル戦略



「つなぐ」「ひろげる」
YAGIの「イマ」がわかる
詳細はこちら



TATRAS 2026年春夏コレクション Presentation in Palais de Tokyo

本年6月、パリのパレ・ド・トーキョー(※)にて、当社のグループ会社 株式会社WEAVAの基幹ブランド「TATRAS」の2026年春夏プレゼンテーションを開催しました。

今回のコレクションは「アーバンサファリ」をテーマに掲げ、真夏の都市における機能性と美しさを探求する、都会と自然の境界を軽やかに越える提案となりました。「アーバンサファリ」というテーマは、カーキとサンドを基調とし、そこに鮮やかなビッドグリーンを差し色として取り入れることで表現されました。カモフラージュ柄と日本的なストライプが再構築され、都市の景観にも自然の風景にも溶け込む独創的なスタイルを提案しました。

※パレ・ド・トーキョーは、セーヌ川に面した現代アート専門の美術館で、1937年のパリ万博の際に美術展示館として建設され、2002年に再オープンしました。

目次

01 連結業績 P5-100

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-20

04 中期経営計画の取り組み P21-26

05 参考資料 P27-29

サステナビリティの考え方

当社は、「持続可能な企業であるための環境改善」、「持続可能な未来のために環境問題を解決」、「未来のライフスタイルへの提案」、「企業の社会的責任」という4つのミッションステートメントのもと、マテリアリティ(重要課題)の設定と対応を通じて経営戦略を加速させることで、社会とヤギグループの持続的成長を目指しております。



17のマテリアリティとSDGs

中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けて、17のマテリアリティと取組項目に対し、事業活動を通じて、定めた目標に向けての取り組みを引き続き推進。



ESG領域	課題の目的	重要課題
 環境	サーキュラー エコノミーの実現	① 持続可能な資源の有効活用
		② 産地の活性化
		③ サーキュラーエコノミーの実現
		④ サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出削減
	イノベーションの創出	⑤ DXの推進
		⑥ 新技術の研究/開発への投資
		⑦ パートナーシップで業界特有の課題解決
 社会	ワークライフバランスの実現	⑧ 従業員のメンタルヘルスケア
		⑨ 長時間労働の是正
	ダイバーシティ& インクルージョンの実現	⑩ 多様な働き方の推進
		⑪ 人材の多様性の確保
		⑫ 若手社員の働きがいの向上
	女性の活躍推進	⑬ 女性のリーダーシップの機会を確保
		⑭ 女性が働き続けられる労働環境の整備
 ガバナンス	ガバナンスの強化	⑮ コーポレートガバナンスの強化
		⑯ サプライチェーンマネジメントの推進
		⑰ 取引先の人権侵害の防止



Heritage to the future

【免責事項】

本資料には、当社グループに関連する見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において当社が入手している情報に基づき、一定の前提(仮定)と予想を基礎としています。また、本資料の作成に際して依拠した統計等第三者情報の正確性や完全性について、当社は何ら表明および保証するものではありません。

そのため、これらの記述または前提(仮定)は客観的に不正確であったり、将来実現しない可能性があり、将来の見通しと実際の結果は、経済状況の変化、お客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。当社は、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

したがって、本資料のみに準拠して投資判断されることはお控えくださいますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

株式会社ヤギ 経営企画部 経営管理/IRG

E-mail : [IR\(投資家情報\)に関するお問い合わせ](#)



当社IRに関する、各種開示情報の掲載や事業内容などの最新情報を公式ホームページでも公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.yaginet.co.jp/ja/ir/index.html>

